

議会議員研修

松島町議会と被災地視察



昨年10月22日に宮城県松島町を視察しました。日本三景の一つに称される松島町は、人口15,000人余りで、議員定数は18名、議会費は1億3千2百50万円弱とのことでした。当町議会と比較しますと、予算規模は多いが、平成20年に松島町議会基本条例を制定するなど、各議員の活動状況は活発の様に感じた次第です。

翌日、東日本大震災における被害状況視察ということで、海岸線を数キロ視察しました。地盤沈下が想像



松島町議会からの説明

東日本大震災による津波被害で廃墟と化した校舎



以上にひどく、鉄筋コンクリート造りの小学校、中学校、高校が廃墟のようでした。周囲の住宅は取り壊してあるものの、地盤の高上げを数メートル行わないと、法的に家は建てられない状態です。復興にはとても地方、民間では無理と感じた次第です。早急に国を挙げての復興が望まれます。松島湾の大型遊覧船も観光客が無く、台湾で営業していると聞きましたが、遊覧船が帰ってくることを祈りつつ、視察研修の報告とします。

産業建設常任委員会

委員長 鈴木 唯夫

姉妹町である松田町議会と議員交流



昨年の11月に松田町産業まつりを視察するとともに議員交流会を行い、これから姉妹町として特産品の紹介・スポーツ交流などについて意見交換を行いました。

編集後記

平成25年、町民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと思います。横芝光町も合併後約7年を数えます。山武郡・匝瑳郡、さらに古くは上総・下総と国を跨いだ全国でも稀有な市町村合併でした。しかし一部組合が別々であることなど諸問題が山積しています。横芝光町議会では二元代表制の一翼を担い、町民の皆様へ負託を得た立場から、一日も早く同一行政区を感じていただくよう積極的な活動を推進しています。

年に四回発行されていますが、より多くの皆様に愛されますよう「見やすく分かりやすい」をモットーに創意工夫をしてみたいです。今後とも議会・議員に対しましては遠慮また忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員 森川 忠